

# 人間を飢餓から救ったジャガイモ(ポテト)

5月17日(水)、今日の誕生日の花は「ジャガイモの花」花言葉は“情け深い”です。  
ジャガイモはナス科の多年草の植物。  
品種により、白っぽいもの、薄紫のもの、濃い紫色・・・かわいらしい花が一杯。

徳川家康が活躍した1600年頃、オランダ人が日本にジャガイモ(ポテト)を持ち込みました。  
インドネシアのジャカルタ港を出港した植物で、名前がジャガイモと名付けられたそうです。  
ジャガイモは根を食べる根菜類。果菜類ではありません。



ジャガイモの日本での最大の産地は北海道。春に植え付け夏の終わりから秋にかけて収穫します。  
第二の産地は九州の長崎。秋に植え付け冬に収穫、更に冬に植え付け、春に収穫の二期作が行われています。



インカ帝国の時代、南米アンデスの高地原産のジャガイモはスペイン人がヨーロッパに持ち帰り、その後、世界各地に伝わりました。寒さに強く、比較的保存がきくのが特色です。現在では多品種のジャガイモが出回っています。  
18世紀にはアイルランド移民の手で北アメリカにわたり、アメリカ独立戦争における兵士たちの胃袋を満たす食料源となっていました。

ジャガイモは世界各地の寒冷地で栽培され、保存もきき、人間を飢餓から救った食べ物として大変、重宝されています。

日本人の主食はお米や、パン。  
ヨーロッパ諸国では日本のお米に相当するのはパンとポテト(ジャガイモ)です。  
日本人の大半の人はポテト(ジャガイモ)は副食とっており、主食とは思っていません。

ある日本人の高校生が、英国家庭にホームステイしました。  
朝食時、ベーコン付きの目玉焼きにポテトがついた皿が出てきました、それにコーヒー・・・。  
パンはでていません。  
日本人の高校生は親元にメールを送り、「今朝は朝食にパンがでなかった・・・」と不平を言っていました。



英国ではポテトが出たときはパンは出てこないのです。  
日本でお米(ご飯)が出てきたときにはパンはでてこない。  
パンが出てきたときはご飯はでてこないのと同じです。  
英国では、ポテトはパンと同様の主食ですので、どちらかが出てくればもう一方は出てこないのです。  
欧米人の主食はパンと思い込んでいる日本人の高校生が多く、このような誤解が生まれました。

